

# 農家今昔物語

こいぶみの前身「ひろしまる倶楽部」の表紙を飾ってくださったみなさんを、11年経過した今、再び訪れて「今」を話していただきました。

## 人とのつながりを大事に

後藤 みち子さん

安佐南区祇園

安佐南区祇園にある後藤さんのお宅の近隣では、大型のショッピングモールや新たな店舗が増え、生活環境の利便性が高まり、宅地化が進んでいます。周辺環境の変化にもない、後藤さんのお宅でも以前より農作物の栽培面積は減りましたが、現在も数十種類の野菜を栽培し、大町にある「とれたて元気市」に出荷

しています。

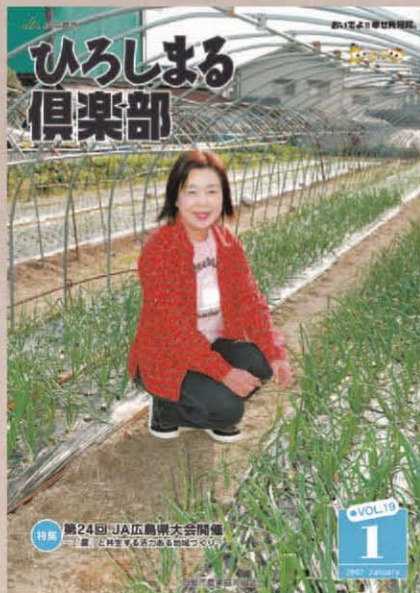
みち子さんは、「元気市」への出荷グループ「祇園とれたてグループ」の一員として、「元気市」ができた当初から出荷を続けています。売場には「祇園とれたてグループ」の名前で、旬のとれたて野菜が並び、そばには野菜やその食べ方を紹介する手作りのPOPが飾られています。売場に立つと、消費者から野菜の特徴や食べ方を質問されたり、逆に「こう調理したらおいしかった」と教えを受けたり、「仲間や売場でのコミュニケーションが楽しみ」とみち子さんは語ります。



2018

朝より多くの野菜の管理を行います。自宅から近い「元気市」には、自転車でもれたての野菜を搬入していました。最近では、時間が合う時はご主人の博文さんが自動車で送り迎えをしてくれるのだそう。

会社を退職した博文さんは、裏方として草取りや耕うん機を使った力のいる作業を担います。ご夫婦でお互いに支え合い、これからも農業人生を歩んでいかれます。



2007

高24回 JJA広島県大会開催  
「産 ぶと科室する高力高島産物つく」  
VOL.19 1



▲今年は新たな品目(落花生)を作っています。



▲とれたて元気市「祇園とれたてグループ」の名前で野菜が並びます。



▲ご夫婦で仲良く自宅前で。